



～子どもの育ちを応援する情報を発信～

# のびのび通信

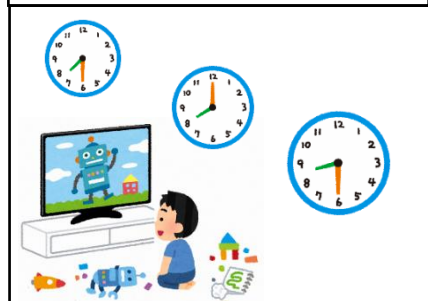


7  
2021

甲賀市発達支援課 R3.7 (隔月発行)

7月に入り、夏がやってきました。感染症対策を続けながら、暑い夏を元気に乗り切りたいですね。

さて、今回から4回シリーズで「子どもの気になる姿や困った行動の『わけ』と関わり方」についてお伝えします。この内容を発達支援課心理士が説明した6分程度の動画もご紹介していますので、ぜひご覧ください。



家庭で子どもたちのどんな姿に困っているでしょうか。「落ち着きがない」「こだわりが強い」「切り替えが苦手」「すぐに手が出る」・・・など、いろいろなことがあるかもしれません。今回は、子どもの困った行動の例として、「テレビを見ることがやめられず、毎朝の準備ができない」という姿について考えます。「どうして準備をしないんだろう」という、困った行動の「わけ」を探っていくことで、新しい関わり方を見つけることができるかもしれません。

「わけ」を探っていくコツは、見えている子どもの行動や姿に注目し、「保育園の準備をしない」時の子どもがどんな様子なのかをよく見ることです。この場合、見えている子どもの行動のひとつは、「テレビに夢中になっている」です。今回はその「わけ」を考えます。

大きな声で呼んでも気づかないほどに集中している場合は、**ひとつのことに集中し過ぎてしまいやすい特徴**があるのかもしれませんが、また、**耳から聞くことよりも、見えるもののほうに注意が向きやすいという特徴**も考えられます。

こうした「わけ」がある場合、この子どもには離れたところや後ろから声をかけるのではなく、**子どもの目の前に立ち、大人のほうに意識を向けさせてから「準備しようね」と言う方が、保育園の準備という行動につながります。**

次回は、この続きで、「お母さんの声は聞こえているけれど、テレビの前から動かない」行動について考えます。

わけ(特徴) **ひとつのことに集中し過ぎる**  
**見えることに意識が集中しやすい**

- ・子どもの目の前に立つ
- ・大人に意識を向けさせる



動画も  
ご覧ください。



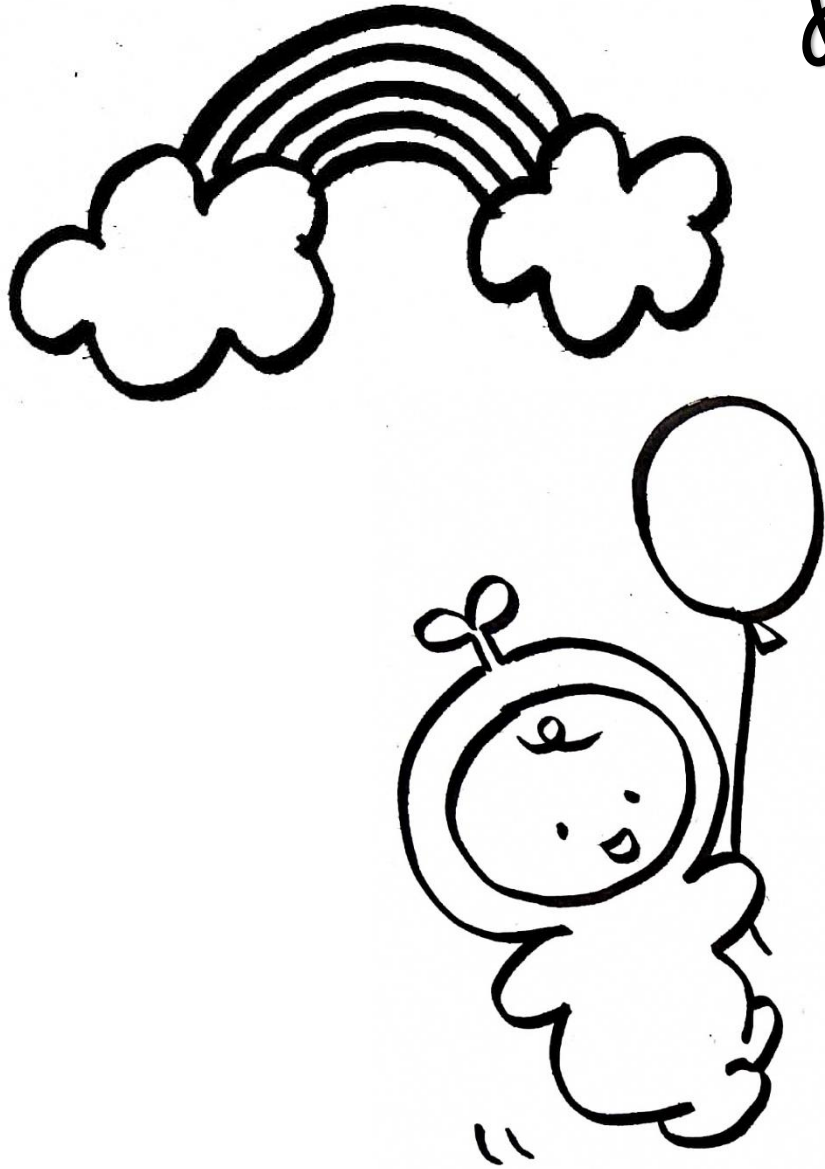
## つみきの広場

このコーナーでは、児童発達支援センターつみきで行っている遊びや活動の中から、家庭でも楽しめるものを紹介します。



前号に引き続き、感覚統合を取り入れた遊びを紹介します。今回は『ぶんまわし』です。回転する感覚が好きな子どもには、大人が子どもを抱きかかえ、くるくる回ってみましょう。回転刺激を求める子どもにとって、感覚統合を発達させる遊びの一つです。「回る」「止まる」などの変化をつけるとメリハリがついて楽しく遊べると思います。回転した後に子どもの目が左右に揺れていたら(眼振といいます)しっかり刺激が入った証拠です。回転刺激はとても強い刺激なので、子どもの表情や顔色を見ながら遊んでください。また、大人も目が回ると危ないので、無理しないようにし、広い場所で行ってくださいね。

# ぬりえ



発達支援課マスコット  
のびるん



発達支援課マスコット  
はあとん

すきないろで ぬってね